



### 三十年前ハルピンに倒れた 伊藤博文公を偲ぶ (上)

日本憲法制定史上不朽の足跡を残した明治の元勳伊藤博文公が明治四十二年十月廿六日、安重根の兇弾はハルピン驛頭を鮮血に染め六十九歳を一期として明治日本の指導者に相応しい波瀾に富んだ人生の頁を結んでから早や三十年の星霜が如く流れた。明治卅八年十二月から四十二年六月まで韓統監としてひたすら半島の昏伏に任じた春風公が凛然として歌米漫遊の旅に上り雪のハルピン驛頭に降り立つた心事は歴史のとはりに閉ざされて知る由もないが憲法起草の大黒柱として黎明日本の指導者として自他共に許した公の英霊もいま大陸に澎湃として激り溢れる新東亞建設の巨歩に微笑みかける何ものかがあらうと思出新なる公の卍周忌を前に銘記すべき明治四十二年十月廿六日朝の血の記憶を聴く

▲田中清次郎氏談  
伊藤公遺難當時滞韓に理事として在韓、公の來滿を迎へて大連よりハルピンまで隨行、遺難の現場を目撃した現満鐵道部長長田中清次郎氏は早くも卍年の星霜を経た歴史的人物の遺難状況を回想しつゝ語る

公の隨員としては當時の滿鐵總裁中村是公さんと理事として私それに當時の秘書役長であつた龍井さんといふ二人に東海林と云ふ通譯が大連からお伴したわけだが、その日哈爾濱はお話にならぬ位寒かつたことを記憶してゐる公は日露、支那野の多数の出迎へて迎へられたハルピン驛頭に降り立ち一とわたり整列の前を通過答禮された時だ、護衛隊の切れ目から飛び出した犯人が續け様に数發、公を目がけて發射した、私も後から公をさへ車中に擔ぎ込んだ一人だが、弾丸は三發いづれも致

命傷で直かの間に絶命されてゐた、今は全く歴史上の事件として知られてゐるのみだが現場を目撃した私は未だつい最近のやうに思はれ、車中山七田島の鐫をつゞき古蹟を打つて居られた公の明らかな様子が目に浮ぶやうだ、公はさつつかまへても決して成て嚴寺作らぬ人でこんな事でも思ふやうな意見を洩されると云ふ風だつたが一方まことに道義的な凡庸さを持たれた方だつた、さらに云へばこんな思ひもある我々滿鐵人に對して「現在の滿鐵の事業は露支條約の規定を越してはゐないが若しさうであるならば速かに條約の改訂を行はねばならぬ」との念を入れてのお尋ねだつた國際信義を懸念する事があつてはならぬとのお諭しだつたと思ふのだが非常に感銘を深かつたのを覚えてゐる

### 千やなぎ

賣り始めました

平市土橋

丸仙商店

電話六六二番

### 鑄物の代用品生

國策線上ノ改良品

セメント製マンホール 金三〇〇各種

風窓網 金五十五各種

平市南町二〇

野内商會

電話一一番

### 焼土管 在庫豊富

銃後の作家計費引下に  
十日のセールスデーを  
ご利用下さい

平マーケット

電話七〇

### 開業

内臓外科  
整形外科

平市大町二番地

内木外科醫院

醫學博士 内木宗八

入院隨時

### 漢方百草根

神經痛・ロイマチス

塗布薬

陸海軍病院御用薬

平代理店 丸龜商店

平市大町 電話一三三番

### 展會友寫城磐

11月 11. 12日

於 マルトモホール

入場無料

作品募集

書題自由・大サ四ツ切一半切

11月8日締切・大村屋旅館宛

アマチュア・カメラ同好団体

磐城寫友會

平 2・電 3

### 蓄膿症 快鼻湯

本劑は幾多の藥劑あると雖他藥の及ばざる其藥で、左の病症の方は一時も早く服用され快癒されん事をお奨め致します

蓄膿症、慢性急性性鼻加答兒、鼻汁多加症頭痛、肥厚性鼻炎に靈効あり。

快鼻湯 製造元 水野藥局

責任製劑者 藥劑師 水野清一

福島縣平市二丁目 電話六九九番

### 江尻醫院

花柳病科  
泌尿器科  
皮膚科

診察 午前八時より  
午後九時まで

（入院隨意）

平市田町 電話六九二

醫學博士 江尻伊三郎

### 安齋醫院

内科外科  
エツキス光線  
産婦人科

院長 安齋徹

平市田町 (電話四五七番)

入院隨意

### 開業廣告

物理療法 内科 小兒科 専門

診療時間 平市五丁目二  
自午前八時  
至午後六時

額賀醫院

(元平松宅)

### 附屬産院 新設

妊産婦入院隨時

産科 婦人科

木村病院

平市新川町

電話一六四番

### 三井質店

公債・債券  
質物一般

平市四丁目

電話六〇六番

### 最新時局關係地圖

マルトモ書店

最新世界大地圖 五〇

改訂世界大地圖 五〇

最新世界地圖 六〇

最新歐洲現勢圖 三〇

和樂路屋發行

九段書房

蘇聯極東現勢圖 四〇

支那地圖 一〇〇

滿洲國地圖 一〇〇

滿洲帝國全圖 六〇

支那本部詳細圖 六〇

軸輿亞大地圖 四〇